

【基本理念】 儲ける林業・稼げる林業・地域を支える林業

【計画期間】 令和7年度～令和11年度

【数値目標】 林業による生産量：208千³m → 250千³m (239千³m※1)
 木材生産額：16億円 → 22億円 (19億円※2)

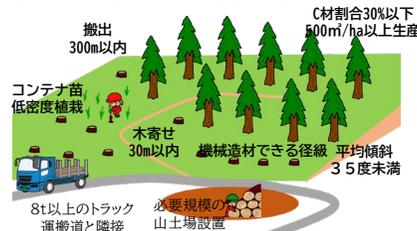
※1：林業による生産量に公共工事等で発生した支障木を加算した総生産量
 ※2：※1の総木材生産額

I. 「Fukui Forest Design」推進プロジェクト

I. 大きな林業（ふくい型林業経営モデル）の推進

1. ふくい型林業経営モデルの定着と拡大を図り、効率的な主伐・再生林を推進

- (1) 主伐地の集約化によりふくい型林業経営モデルを面的に展開
- (2) 必要な県産種苗の安定供給体制の構築
- (3) 新たな技術や手法を活用した林業経営の推進



（ふくい型林業経営モデル地のイメージ）

2. 担い手の確保・育成の推進

- (1) 主伐、再生林等を実行・推進できる人材の確保・育成
- (2) 雇用環境の改善および労働安全対策の強化

II. 小さな林業（自伐型林業と副業）の推進

- (1) 都市部からの移住・定住や自伐型林業団体設立等の促進
- (2) 儲かる半林半Xのモデルづくり



（自伐型林業大学校の開校）

III. 県産材の需要拡大の推進

1. B材工場の誘致等による県産材需要の拡大

- (1) B材工場（合板・LVL等）の誘致
- (2) 大径材を利用した高付加価値製品を生産
- (3) 意欲的な製材事業者等の連携による都市圏や海外での販路の開拓
- (4) 住宅、公共・民間施設などの非住宅での県産材利用の推進
- (5) 木質バイオマスの利用推進



（B材工場誘致（イメージ））

2. 需要的確に対応できる合理的な流通体制の構築

- (1) 県産材の需給調整を統括するシステム等を構築
- (2) 意欲ある製材事業者の育成



（フクモクフェスの開催）

3. 県産材利用の理解を深めるふくいの木運動の継続

- (1) みんなでつかおう「ふくいの木」運動の展開
- (2) 企業を対象とした勉強会等の開催

II. 「森林を『守り』『活かし』『慈しむ』」推進プロジェクト

I. 山地防災力を強化した治山事業等の推進

- (1) ICT技術を活用した森林土木工事の推進
- (2) 大規模災害時の対応に向けた体制づくり
- (3) 防災・減災・国土強靱化に向けた事業の推進

III. 特用林産物の生産振興および地域資源を活用した新たな森林ビジネスの創出

- (1) 新規生産者の開拓と栽培技術・生産量の向上
- (2) 林業遺産や地域特産品の振興
- (3) 山村地域の資源を活用した森林ビジネスの創出

II. 公益的機能が発揮できる森林づくりの推進

- (1) 天然更新の確保による多様な森づくりを推進
- (2) 獣害や病虫害に強い森づくりを強化

IV. 全国育樹祭の開催理念を承継した緑と花の県民運動の持続的な展開

- (1) 緑と花の県民運動の推進に加え「木を伐って使い、植え育てる」機運を社会全体に浸透
- (2) ふくいの自然や木の良さを伝え、触れ合える機会を創出



（新規生産者向け研修会の開催）